

ステップアップ

西大崎地域自治協議会
西大崎アーカイブ作成集団育成事業



地域づくりのワークショップで提案されたさまざまなアイデアを、実現・実行する人材の育成が課題となっています。
今回、地域の宝である「居久根のある農村景観」を中心に、伝統・食文化などの風景や地域住民の暮らしを後世に残すため、地域の写真愛好家らが参画し、アーカイブ(映像記録など)を作成する集団を組織。地域の「宝」を感じ、将来の地域を担う人材育成につなげます。

ステップアップ

西大崎地域自治協議会
西大崎空間・体感・再発見開催事業



地域のコミュニティ拠点の西大崎小学校が閉校し、次代を担う子どもたちを支援する場面・機会の減少が懸念されています。小学校の敷地でパルーンを揚げ、子どもたちに世界農業遺産のすばらしさや、地域の有用性を肌で感じてもらいました。また、実践してきた食育の取り組みや、前回大好評だった「西大崎大遠足」の南コースの設定調査を行い、探訪マップ作成で、子どもたちを支援する機会の創出と地域の再発見につなげています。

審査会を傍聴しませんか？

地域の課題解決に向けた取り組みなど、地域づくりを身近に感じることができます。
令和2年度も審査会を実施しますので、ぜひ、審査会を傍聴してみてください。
詳しくは、まちづくり推進課へお問い合わせください。



ステップアップ

鹿島台まちづくり協議会安全で快適委員会
地域ぐるみで「安全で快適マップ」づくり



生活道路・通学路などの危険箇所を知るためのマップや、ため池啓発ポスターを作成し、広く周知することで、事故防止などに役立てています。
この事業を子どもと大人が一緒に考え実践し、成果を伝えていくことで、親子間や世代を超えた交流を行いながら、安心・安全に関する意識や知識を高め、地域ぐるみでの安全で快適なまちづくりにつなげています。

ステップアップ

鳴子地域づくりネットワーク
伝統文化継承事業



日本の伝統芸能を鑑賞・体験する機会が少ないことや、敷居が高いイメージから、地域の次代を担う後継者不足が深刻になっています。
そこで、伝統芸能を幼少期から鑑賞・体験することで、後継者問題解決のきっかけとなることを目的に、地域の関係団体同士の連携により「狂言教室」を小学校で開催し、子どもたちの興味・関心の向上を図りました。

ステップアップ

清滝地区振興協議会
“目印”でつなぐ地域防災体制整備事業



地域防災に関する視察や実践を通して認識を深めてきましたが、安否確認や避難所開設時に、2つの大きな不備が見えてきました。それは、災害対策本部の担当者の顔が見えない事と、行政区の目印がない事。そこで今回、区名入りのベストと旗を作成したところ、避難すべき場所が、ひと目で判別できるようになりました。旗もベストも平時は、運動会などで、応援や競技にも活用しています。

地域の課題解決に 二つの交付金が活用されています

☎ まちづくり推進課地域自治・NPO担当
☎ 23-5069

上限額100万円
年間2回まで！

チャレンジ事業交付金

申請団体からのプレゼンテーションをもとに審査が行われ、住民相互の合意形成や自主財源の確保など、地域自治組織の経営力や組織力の高まり、申請に至る過程が重視されます。これまで42件の事業が採択されています。

上限額20万円
年間2回まで！

ステップアップ事業交付金

審査はヒアリング形式で行われ、申請者との話し合いで、課題解決に向けたより良い方策を導き出す「申請団体の育成の視点」もあります。チャレンジ事業交付金に比べて取り組みやすく、これまで72件の事業が採択されています。

皆さんが暮らす地域の環境整備や課題解決などには、まちづくり協議会や地域づくり委員会が「大崎市地域自治組織活性化事業交付金」を活用して取り組んでいるのを知っていますか。
交付金には、組織運営のために一律に交付される「基礎交付金」のほか、地域や地区の課題を地域団体の手で解決しようとする際に申請できる「チャレンジ事業交付金」と「ステップアップ事業交付金」があります。
チャレンジとステップアップ2つの交付金は、地域課題の解決や、地域の特性・資源を生かした地域づくり事業に活用することができる交付金です。年度内に1団体につき2回まで、総事業費の8割を交付することができます。
この2つの交付金は、市民と学識者などで構成する審査委員会の審査を経て、その適否が決定されています。審査では、申請団体からの「プレゼンテーション」や「ヒアリング」を通じて、申請に至った過程や今後の取り組みなどが確認されます。
令和元年度は、チャレンジ事業交付金に3団体、ステップアップ事業交付金に5団体が採択されました。採択された8団体の事例を紹介します。

チャレンジ

鹿島台まちづくり協議会のびのび生涯学習委員会
伝えよう！おらほの宝、おらほのふるさと



鹿島台地域の「宝」は、鎌田三之助翁と、翁が残した功績です。
近年、核家族化の影響もあり、翁を知る地域の高齢者が、その功績を子どもたちに語り伝え、学ぶ機会が少なくなっています。そこで、地域の人たちに、もっとふるさとの良さを知ってもらうため、「鎌田三之助すごろく・ふるさとすごろく」を作成し、地域行事やイベントで活用しています。

チャレンジ

三本木まちづくり協議会安全部会
「災害対応行動表」作成プロジェクト vol.1・2



地域住民対象の「9.11豪雨災害アンケート」を実施し、住民への減災・防災の意識づけなど、災害対応を話し合いました。集まった意見を生かし、避難場所や経路などをメモできる、家庭で役立つ「いつも目に留まる行動表」を、古川消防署三本木出張所や、地元出身のデザイナー、通所作業所と連携して作成しました。
※同協議会では、令和元年度に2回「チャレンジ交付金」が採択され、「災害対応行動表」を3,000枚作成し、地域内の各世帯に配布しました。